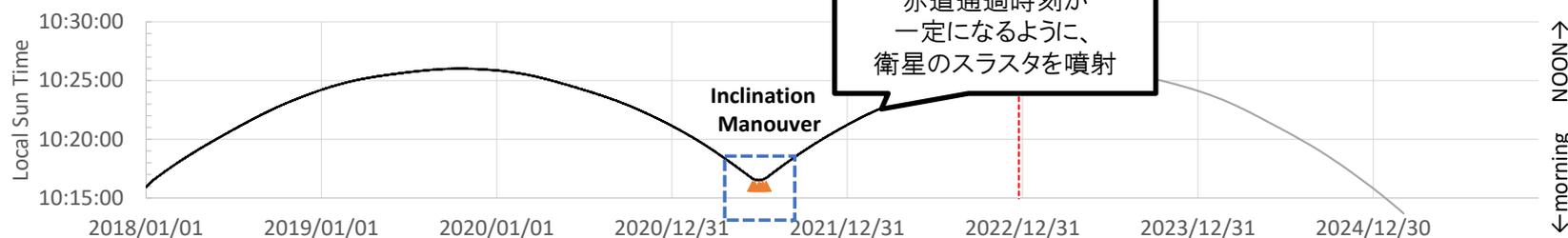


しきさい衛星の軌道と日本周辺の観測

- しきさい衛星の軌道のタイプは、「**太陽同期準回帰軌道**」と呼ばれる軌道です。このタイプの人工衛星では、衛星が赤道を通過する時刻を一定に保ちます。
- 具体的には、「**赤道通過時の時刻が10時20分±5分(日中・夜間とも)**」になるように、約3.5年に一回の頻度で軌道を修正しています。(下図)
- 日本周辺では、人工衛星の軌道が少し傾いているため、赤道通過時より「**日中は約40分遅く**」、「**夜間は約40分早く**」、しきさい衛星が到来します。(次頁)
- 以上から、以下ようになります。

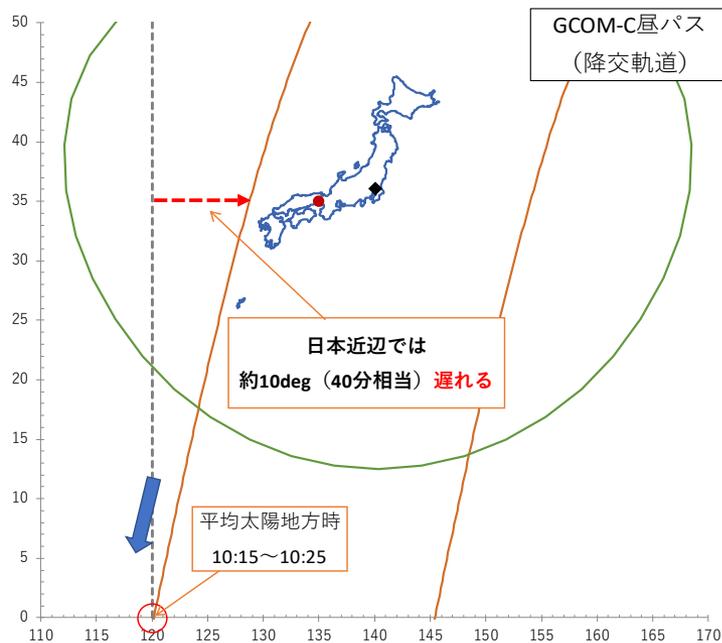
しきさい衛星は日本周辺を1日に2回観測します。(日中は11時頃、夜間は21時40分頃)

赤道通過時刻

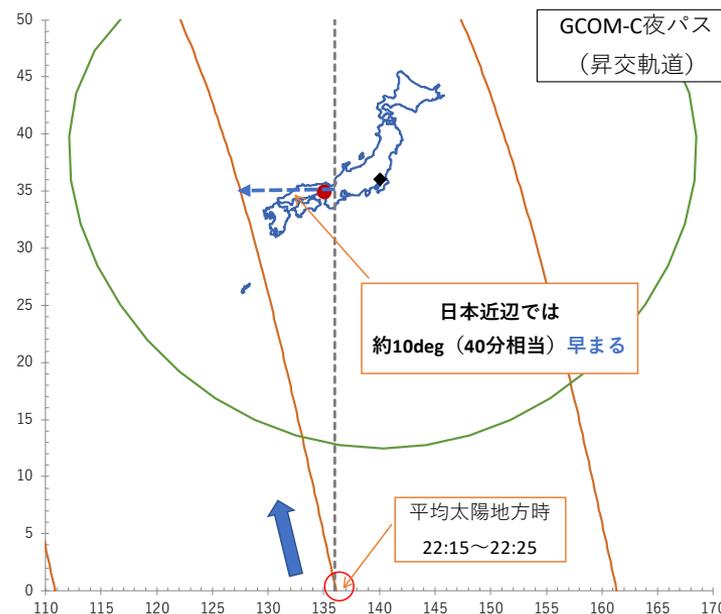


しきさい衛星の日本周辺観測

日本周辺の観測 (昼間)



日本周辺の観測 (夜間)



軌道が傾いているため、赤道上空と日本周辺では40分程度の時差があります。
このため、「日中は約40分遅く」、「夜間は約40分早く」、しきさい衛星が到来します